

# 決算等審査 特別委員会

委員長 柳橋 邦彦  
副委員長 日下 富士夫

本委員会は、議会選出の監査委員を除く、全議員五十八名で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内、各会計・款ごとに一問一答形式の質疑を行います。

審査は九月十七日から十一日間開催され、延べ七十人の委員が三十七時間にわたって審査を行いました。

以下、主な質疑と答弁の要旨等を派派ごとに掲載します。

## みらい仙台

**問** 熊谷 善夫 委員  
汚水処理適正化構想の見直しとその効果は

**答** 浄化槽処理区域を広げ、下水管への雨水等の不明水の混入を削減し、下水有収率の向上を図るべき。

**問** 齋藤 範夫 委員  
下水道管の改修や家庭の誤接続の改善指導等を行う

**答** 市立病院の経営は、一般会計から三十億円以上繰り入れても赤字であるが、経営改善の取組はどうか。

**答** 外部委託による人件費抑制、院外処方導入による薬剤業務の効率化を行った。また、経営委員会を設置し経営改善への分析・検討を始めた。

**問** 佐藤 正昭 委員  
仙台都市圏の総合力を引出し、都市間競争を勝ち抜く魅力創出が必要ではないか

**答** 東北全体を視野に入れ、主体的に提案・提言していく。広域行政の推進によるシテイスールズを

**問** 関根 千賀子 委員  
圖書の未返却者への効果的な督促とモラルアップを

**答** 各種施設の整備や、緊急シヨートステイ事業の開始、緊急通報システムを拡充した。

**問** ボランティア活動は、教育の要と思いがいかか

**答** 総合的な学習の時間などでの体験活動を通して福祉の心を育てるよう取り組む。

**問** 西澤 啓文 委員  
敬老乗車証利用者の利便性向上のため、記載する文字・画はもとより、市内の各案内表示も明度・彩度に配慮し、より見やすくすべき

**答** 市民の目の高さ、高齢者の立場で改善していきたい。民間の歴史的建造物を後世に残すために、金沢市同様本市も支援等を講ずべき

**問** 渡辺 芳雄 委員  
不法投棄防止のため、国等の河川管理者と連携を

**答** さらに関係機関と連携を強め、的確に対応したい。

**問** 十四年度の集団資源回収実施団体の回収実績は

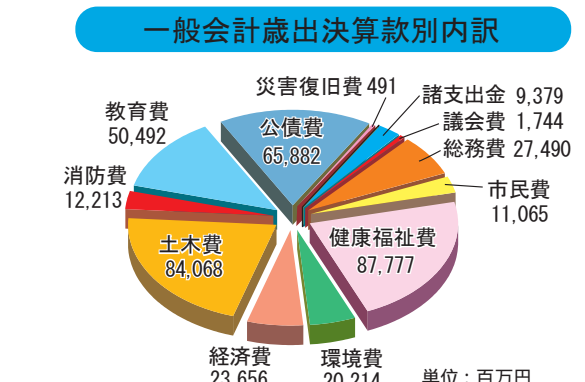
**答** 約三万四千七、本市の五・ピン・ベットの資源化に匹敵する。

**問** 伊藤 新治郎 委員  
優秀な教師を養育する制度を

**答** 伊藤 新治郎 委員  
市長就任十年を迎えるのを期に、今後の取組は、現に向けた、今後の取組は、



集団資源回収の様子



### 平成14年度一般会計決算収支の状況

予算現額	427,455,151
歳入決算額	A 402,467,429
歳出決算額	B 394,471,659
歳入歳出差引額	C=A-B 7,995,770
翌年へ繰り越すべき財源	D 6,093,851
実質収支額	E=C-D 1,901,919

単位：千円

**問** 野田 謙 議員  
シックハウス対策について、新築の学校では、何項目の検査をしているのか伺う。

**答** 「学校環境衛生」の基準に定められた四物質のうち三物質について検査している。シックハウスの症状がある児童への対応を伺う。

**問** 教室への空気清浄機の設置を検討している。

**答** 厚生労働省の示す十五物質を検査項目にすべきではないか。

**問** 項目の見直しを含め、関係局が連携し取り組みたい。

**答** 大内 久雄 議員  
冷害による稲作被害に対する今後の対応について伺う。

**問** 適期刈り取りの徹底や適切な乾燥調製等が重要であり、情報の周知徹底に努めたい。

**問** シックハウスの対策について、新築の学校では、何項目の検査をしているのか伺う。

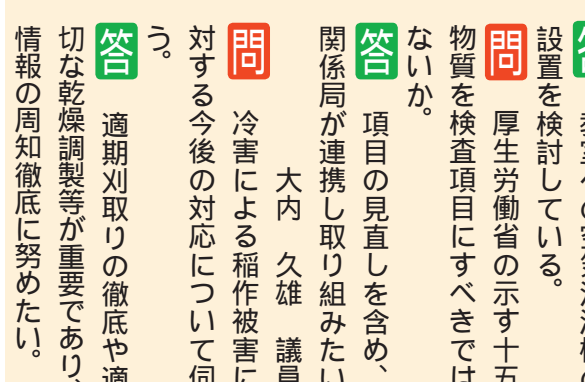
**答** 「学校環境衛生」の基準に定められた四物質のうち三物質について検査している。シックハウスの症状がある児童への対応を伺う。

**問** 教室への空気清浄機の設置を検討している。

**答** 厚生労働省の示す十五物質を検査項目にすべきではないか。

**問** 項目の見直しを含め、関係局が連携し取り組みたい。

**答** 大内 久雄 議員  
冷害による稲作被害に対する今後の対応について伺う。



松くい虫の被害を受けた松

**問** 農業集落排水事業について、処理区域を広げるための条例改正を求めめる。

**答** 施設の処理能力を考慮しながら、検討していきたい。

**問** 松枯れの原因について伺う。

**答** 松くい虫及び生育環境の悪化によると考えられる。

**問** 農業者集落排水事業について、処理区域を広げるための条例改正を求めめる。

**答** 施設の処理能力を考慮しながら、検討していきたい。

**問** 松枯れの原因について伺う。

**答** 松くい虫及び生育環境の悪化によると考えられる。

**問** 農業者集落排水事業について、処理区域を広げるための条例改正を求めめる。

**答** 施設の処理能力を考慮しながら、検討していきたい。

**問** 松枯れの原因について伺う。

**答** 松くい虫及び生育環境の悪化によると考えられる。

## 公明党

**問** 会計・款別の主な質疑項目  
公営企業会計

**問** 市立病院には、公営企業としての経営感覚が必要であり、市民の信頼を得られるようサービス向上に努めよ。

**答** 職員意識改革を徹底していきたい。

**問** 市民ががん検診に「前立腺がん」を加えるべき。

**答** 精密検査実施体制等の問題も含め検討を進めたい。子宮がん検診の対象年齢を二十代から引き下げよ。地下鉄ホームへのベンチ増設。

**問** 市民ががん検診に「前立腺がん」を加えるべき。

**答** 精密検査実施体制等の問題も含め検討を進めたい。子宮がん検診の対象年齢を二十代から引き下げよ。地下鉄ホームへのベンチ増設。

**問** 市民ががん検診に「前立腺がん」を加えるべき。

**答** 精密検査実施体制等の問題も含め検討を進めたい。子宮がん検診の対象年齢を二十代から引き下げよ。地下鉄ホームへのベンチ増設。

**問** 石川 建治 委員  
市民の交通権の確保や生活交通の維持への留意は

**答** 公共交通には、利用者との事業者の便益に加え、福祉・環境負荷・渋滞の軽減など社会全体の便益が期待されており、全庁挙げての協力体制と取組が必要と考えている。

**問** バス事業の増収・増客策について

**答** 斉藤 重光 委員  
合流式下水道緊急改善計画の内容について伺う。

**答** 七郷堀に流入する地区を対象として、貯留管の設置や部分的な分流出、道路路すの浸透化により、雨天時に下水道から放流される汚濁負荷を削減する。

**問** 大槻 正俊 委員  
雇用対策部門の充実と目標を定めた雇用拡大を

**答** 効果的な対策を進めるため、引き続き推進体制の強化を図る。具体的数値目標を設定する。

**問** 市立病院にアレギー科を

**答** 量を五カ年で六割削減する。雷目雨水幹線溢水対策。学校給食での食物アレギー対策の強化について

**問** 市立病院にアレギー科を

**答** 量を五カ年で六割削減する。雷目雨水幹線溢水対策。学校給食での食物アレギー対策の強化について



平成14年の台風による道路冠水(若林区)

### 平成14年度特別会計歳出決算

都市改造事業	22,224,441
国民健康保険事業	57,225,463
中央卸売市場事業	4,051,194
公共用地先行取得事業	4,044,748
駐車場事業	586,811
老人保健医療事業	65,673,286
農業集落排水事業	712,793
公債管理	85,884,246
母子寡婦福祉資金貸付事業	119,948
新築園事業	628,807
介護保険事業	29,463,783

## 日本共産党

**問** 健康福祉費

**問** 市民ががん検診に「前立腺がん」を加えるべき。

**答** 精密検査実施体制等の問題も含め検討を進めたい。子宮がん検診の対象年齢を二十代から引き下げよ。地下鉄ホームへのベンチ増設。

**問** 市民ががん検診に「前立腺がん」を加えるべき。

**答** 精密検査実施体制等の問題も含め検討を進めたい。子宮がん検診の対象年齢を二十代から引き下げよ。地下鉄ホームへのベンチ増設。

**問** 市民ががん検診に「前立腺がん」を加えるべき。

**答** 精密検査実施体制等の問題も含め検討を進めたい。子宮がん検診の対象年齢を二十代から引き下げよ。地下鉄ホームへのベンチ増設。

**問** 市民の安心・安全な生活確保のための条例の制定を

**答** 市民懇談会の議論などを踏まえて検討していく。

**問** 町内会の育成について

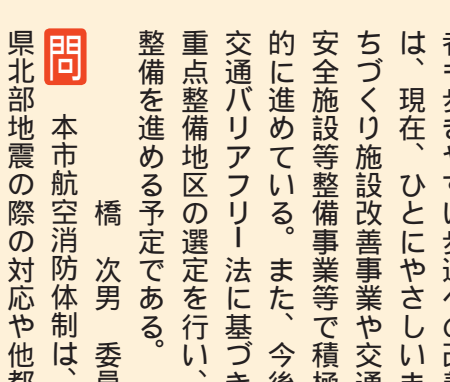
**答** 市政広報と施設を見る会の有効活用と充実について、動物愛護法改正を踏まえたペット行政の確立について

**問** 高年齢者が安全・快適に歩行できるように、歩道空間の障害を無くすべき。

**答** 高齢者だけでなく障害者も歩きやすい歩道への改善は、現在、ひとにやさしいまちづくり施設改善事業や交通安全施設等整備事業等で積極的に進めている。また、今後交通バリアフリー法に基づき重点整備地区の選定を行い、整備を進める予定である。

**問** 本市航空消防体制は、県北部地震の際の対応や他都市との応援協定、夜間運航体制等を見る課題があり、その解決のため、消防ヘリコプターを二機体制にすべき。

**答** 消防ヘリコプターを二機体制にすることは大変有効であると考えられる。様々な事情から実現困難な状況ではあるが重要な課題であり、引き続き検討していきたい。



小さくても大切な命 みんなでペットを大切に

### 平成14年度特別会計決算の収支状況

会計名	歳入	歳出	差引額
都市改造事業	23,296,829	22,224,441	1,072,388
国民健康保険事業	57,225,463	57,225,463	0
中央卸売市場事業	4,051,194	4,051,194	0
公共用地先行取得事業	4,044,748	4,044,748	0
駐車場事業	586,811	586,811	0
老人保健医療事業	65,673,286	65,673,286	0
農業集落排水事業	712,793	712,793	0
公債管理	85,884,246	85,884,246	0
母子寡婦福祉資金貸付事業	119,948	119,948	0
新築園事業	628,807	628,807	0
介護保険事業	29,463,783	29,463,783	0
特別会計合計	272,008,625	270,615,520	1,393,105

**問** 国民健康保険法第四十四条に基づき一部負担金(三割)の減免を実施すべき

**答** 助成費用が増加しており、限られた予算の中で制度を継続するために見直しを

**問** 国民健康保険法第四十四条に基づき一部負担金(三割)の減免を実施すべき

**答** 助成費用が増加しており、限られた予算の中で制度を継続するために見直しを

**問** 国民健康保険法第四十四条に基づき一部負担金(三割)の減免を実施すべき

**答** 助成費用が増加しており、限られた予算の中で制度を継続するために見直しを

**問** 市民の安心・安全な生活確保のための条例の制定を

**答** 市民懇談会の議論などを踏まえて検討していく。

**問** 町内会の育成について

**答** 市政広報と施設を見る会の有効活用と充実について、動物愛護法改正を踏まえたペット行政の確立について

**問** 高年齢者が安全・快適に歩行できるように、歩道空間の障害を無くすべき。

**答** 高齢者だけでなく障害者も歩きやすい歩道への改善は、現在、ひとにやさしいまちづくり施設改善事業や交通安全施設等整備事業等で積極的に進めている。また、今後交通バリアフリー法に基づき重点整備地区の選定を行い、整備を進める予定である。

**問** 本市航空消防体制は、県北部地震の際の対応や他都市との応援協定、夜間運航体制等を見る課題があり、その解決のため、消防ヘリコプターを二機体制にすべき。

**答** 消防ヘリコプターを二機体制にすることは大変有効であると考えられる。様々な事情から実現困難な状況ではあるが重要な課題であり、引き続き検討していきたい。

**問** 国民健康保険法第四十四条に基づき一部負担金(三割)の減免を実施すべき

**答** 助成費用が増加しており、限られた予算の中で制度を継続するために見直しを

**問** 国民健康保険法第四十四条に基づき一部負担金(三割)の減免を実施すべき

**答** 助成費用が増加しており、限られた予算の中で制度を継続するために見直しを

**問** 国民健康保険法第四十四条に基づき一部負担金(三割)の減免を実施すべき

**答** 助成費用が増加しており、限られた予算の中で制度を継続するために見直しを

